

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	教育原理				
担当者氏名	植原 和彦				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-4 発達の深い理解 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を学習する。教育の意義と作用、目的・内容・方法等に関する諸問題を、教育に関する歴史や思想及び教育法規にふれながら基本的な考え方を理解する。また、現代日本の学校教育の営みが、どのように捉えられ変遷してきたを、家庭教育・社会教育の関わりの中で理解する。これらの学習を通して、教育の基本的概念を身につけるとともに、諸要因と相互関係を理解する。

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

参考文献は、人間形成のメディア（昭和堂）、やさしい教育原理、その他参考文献は、授業中に適宜紹介。

《授業の到達目標》

教育の意義・目的・内容・方法について、子どもに関わる教育の理念及び思想から教育を成り立たせる相互の関係を理解する。近代教育制度の成立と展開を理解し、現代の教育問題について考える。教育、学校の営みの変遷を理解する。多様な教育の理念や現在の教育と学校との関りを理解する。

《授業時間外学習》

プリント等により復習を中心におこない、自分の考えをまとめていく。

《成績評価の方法》

授業態度 10%、レポート 30%、小テスト30%、期末テスト30%により評価する。テストでは、理解した知識を正確に再現することと、その知識に基づいて考察した内容や意見などを自分のことばで的確に表現することを求める。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園・小学校・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	授業の概要	オリエンテーション－授業の概要・進め方・評価方法など－
2	教育とは何か	「教育」とは何か。一人間とは何かを遺伝、環境の側面から考察し、子ども・家庭・学校の本質とは－
3	教育の目的	教育の本質と教育目的－教育目的と教育目標・子どもと家庭福祉について理解し、教育の本質を探る－
4	西洋教育思想①	教育の歴史に関する基礎知識①－古代ギリシアの教育思想①－
5	西洋教育思想②	教育の歴史に関する基礎知識②－学校とはどういう場か、近世の教育思想②－
6	西洋教育史③	教育の歴史に関する基礎知識③－ルネサンスと宗教改革、17世紀～18世紀の教育思想－
7	西洋教育史④	教育の歴史に関する基礎知識④－ルソー、ペスタロッチ、フレーベルをもとに－
8	西洋教育史⑤	教育の歴史に関する基礎知識⑤－近代教育制度の成立と展開・児童感と教育観の変遷－
9	家庭教育①	家庭教育の特質と機能－乳幼児の教育の特性と子ども観、教育観－
10	家庭教育②	家庭教育の特質と意義－「野生児の記録」から「アヴェロンの野生児」を中心に－
11	発達心理	人間形成における心理学基底－ボウルビイの愛着を中心として－
12	公教育と学校①	学校教育の成立と展開①－公教育の成立、「義務教育制度」とその要素、それらの相互関係について－
13	公教育と学校②	学校教育の成立と展開②－学校や学習に関わる教育思想を視点に現在の課題について－
14	生涯学習	生涯学習の理念と展開－ポール・ラングランの理論と学校教育・社会教育・家庭教育の連携－
15	まとめ	まとめ